

研究過程

回	期日	テーマ及び講師	会場	人数
1	5月14日(水)	「たのしく・たくましく・たいせつに」過ごすために 高橋 かほる 先生 (聖徳大学児童学部准教授)	高津市民館ホール	212名
2	5月21日(水)	家庭と作ろう、子どもを中心に国とのトライアングル 館 紅 先生(しらこぼと幼稚園園長)	国際交流 レセプションホール	125名
3	6月18日(水)	「手遊び・歌遊び」 中右 貴久 先生(俳優 歌のお兄さん)	国際交流 レセプションホール	125名
4	9月10日(水)	3歳児の興味関心から発達特性を考える 高橋 かほる 先生 (聖徳大学児童学部准教授)	中原市民館ホール	107名
5	10月22日(水)	特別な配慮が必要な子どもの理解・対応と、特別支援教育について 幸福 花江 先生 (横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター巡回相談員)	国際交流ホール	100名
6	11月19日(水)	教育課程と指導計画 細田 淳子 先生(東京家政大学教授)	国際交流 レセプションホール	88名

研究参加園 (46園)

江川幼稚園 川崎ふたば幼稚園 川崎さくら幼稚園 若宮幼稚園
 東三輪幼稚園 小田双葉幼稚園 福音幼稚園 女躰神社幼稚園
 梅園幼稚園 小峰幼稚園 川崎こまどり幼稚園 すみのえ幼稚園
 サクラノ幼稚園 平間幼稚園 太陽第一幼稚園 太陽第二幼稚園
 宮内幼稚園 つぼみ幼稚園 大楽幼稚園 洗足学園大学附属幼稚園
 若竹幼稚園 川崎めぐみ幼稚園 たちばな幼稚園 津田山幼稚園
 梶ヶ谷幼稚園 新作やはた幼稚園 川崎たまがわ幼稚園 有馬白百合幼稚園
 初山幼稚園 さぎぬま幼稚園 ひばり幼稚園 潮見台みどり幼稚園
 宮崎台幼稚園 丸山幼稚園 カリタス幼稚園 菅幼稚園
 東菅幼稚園 宿河原幼稚園 桐光学園みどり幼稚園 桐光学園寺尾みどり幼稚園
 ルミエール幼稚園 柿の実幼稚園 川崎青葉幼稚園 こうりんじ幼稚園
 ちよがおか幼稚園 百合丘めぐみ幼稚園

第1回 新任教職員研修会並びに歓迎会

月 日 平成20年5月14日(水)

場 所 高津市民館 ホール

講 師 高橋 かほる先生

(聖徳大学児童学部准教授)

**テーマ：『たのしく・たくましく・たいせつに』
過ごすために**

俯瞰図番号 B1-1

1. 開会のことば

2. 会長挨拶 井上 久先生

- ・川崎市幼稚園協会は市内85園が100%加盟している団体である。団体の目的は川崎市における幼稚園教育の振興、充実と発展である。大切にしているのは職員研修である。
- ・子ども本部の紹介
- ・日本の子どもを取り組む環境について(いじめ、ネット、自殺、学級崩壊など)
- ・先生とは人にもものを教える事。日本の将来を担う子ども達の健全な育成のために尽力して欲しい。自分達にできる事、“生きる力”を伝えていく。

3. 来賓祝辞 市民・子ども本部長 星 栄様

- ・4月から新しい組織(子ども本部)ができた。
- ・学んだ事と現場での違いに責任を持つ。幼児期はとても大切なので、ご家庭と十分連携をとり、幅広い視野と自覚を持って過ごして欲しい。

4. 研修部長挨拶 山田 まり子先生

- ・お祝いと歓迎の言葉
- ・川崎市幼稚園協会の大きな目的の一つとして教職員の資質向上が上げられる。そのための研修なので、たくさんの研修を緊張して取り組んで欲しい。学びが大切である。

5. 歓迎のことば 佐藤 友花子先生
(津田山幼稚園)

- ・一人で悩まず、周りの先生に相談する。
研修会では様々な事が学べるので、それを活かしていき、夢を叶えた素敵な保育者として頑張っていて欲しい。

6. 記念講演

テーマ「たのしく・たくましく・たいせつに」
過ごすために

講師 高橋 かほる先生

〈内容〉

○子ども達の様子について

- ・4月、5月はあっという間であり、毎日が新鮮である。
- ・場に慣れてきた=安心という事。この安心がとても大切である。
- ・まだうちとけていない子に対して、その子の好きなものがあるかどうか、どうしたら安心するかを考える。
→子どもによって教師の位置、声のトーンを変える。又、いろんな姿を子どもに見せる。そうする事でゆとりが出て安心する。子どもは心の準備が必要なのである。

(例) その子の前で転んでみる(体を使う)

その子にぶつかる、ものを落とす

↓

◎距離を縮めていき、子どもが心を開くように働きかける。(声だけではいけない。)

○仕事の手順について

- ・先輩の先生は手早いのに、自分はなぜ遅くなるのか。なぜ遅くなってしまふのか。
→遅くなって当たり前。経験がないから見通しがつかない。早目に聞いて確認する事が大切。

◎聞くときのポイント(ほうれんそう)

- ①報告
- ②連絡

③相談

- 自分の案を持って聞くこと。そして、その場と次の日に2度お礼をする。
- ポイントをしばって、まとめて聞く。
- 礼儀正しく言葉遣いにきをつける。
(保護者の連絡も同じである)
- よいタイミングで聞く。
- 聞いた事をメモにとる。(顔を見ながら)
- 反応を早くハッキリと話す。
- しぼり込みをしてから話す。
- 期限を聞く。(見通しが見つからないので聞く)
→指導要録にも役立つ。

○社会的マナーとは

- ・社会力＝責任があるという事。社会的マナーとして、どんなときもニコニコしてられるか。素直でいられるか。嫌いな人にも嫌いな顔をしない。ともに生きている。
- ・マナーとして見だしなみがある。通勤時の服装、保育時の服装はどうか。

◎大切な事として

- 1) 先手の行動 (自分から行動する)
- 2) けじめ (慣れ合いにならない・いい距離を保つ)
- 3) 明るく、ゆっくり、丁寧に (言葉)
- 4) 顔を見て応答する (温かい視線)

- ノンバーバルコミュニケーション
(表情、視線、言葉以外の全て)

- バーバルコミュニケーション
(言葉)

→ノンバーバルコミュニケーションを見直すと、人からの誤解がとける。とても大切である。

- ・いい口癖を付けよう。
(ありがとう、やさしいね、うれしいです、すばらしい！すてきだな など)

→子ども達に「大好きなんだ」と言ってあげる。大切なんだという事を伝える。
(自己暗示療法・かわいいセラピー)

○教育要領の中にある教師の役割とは

- ①よりどころとなる。
- ②理解者となる。
- ③援助者となる。
- ④共同作業者となる。(共感し合える。)
- ⑤モデルとなる。

→悪い事をしたときの子どもに対して、注意する事も大事だが①のよりどころにもなる事が大切。理解者となり、本質性は見抜く。

→子どもは見通しができないため、少し早めに言う事。個別に手がかかる子も同様である。

○まとめ～大切な事～

- ①最初から最後まで安全である事
- ②先生の位置
- ③子どものペースを保障する
- ④緊急時、自分が平静でいる事
- ⑤場所(ここからここまでとハッキリさせる)
- ⑥切り上げ所のいいタイミング(怪我につながらないように)
- ⑦帰りの視診(キズ、怪我、熱など)

第2回 新任教諭研修会

月 日 平成20年5月21日(水)

場 所 国際交流レセプションルーム

講 師 館 紅 先生(しらこぼと幼稚園園長)

テーマ:「保護者とのコミュニケーション」

俯瞰図番号 F1-1 F2-1

〈内容〉

○新任時代を振り返って

- ・電話の受け方が難しい。
 - ・仕事の要領が悪い。
 - ・先輩の先生のようにならず、物事がうまくいかない。
- …園の中で役に立つことを1つ考えて行ってみる。

研修会

(例) 戸閉まり、紙芝居の整理、最後まで見て確認するなど

◎義務的ではなく、自発的に行う。

◎自分の日案や保育が上手くいったとき、はたして子どもは楽しかったのだろうかと振り返る。

◎1～3年目は、新人のさわやかさを持って過ごす。

◎失敗が基礎になる。

○困った事に対して

→一番いい事は、自分が困っている事を人に話すこと。

《グループバズ》

①自己紹介

②自分が困っている事を話し合う。

③指名されたグループによる発表。

→発表された内容 (困っている事)

- ・保護者とのコミュニケーションの取り方
- …第一子が入園し、子どもの話を信じて「先生が怖い」という言葉に虐待されているのではないかと過剰になってしまう。又、それが他の保護者にも伝わってしまう。
- ・保護者が外国人で言葉の壁を感じている
- ・アレルギーに対して、保護者が神経質である。
- ・電話などによる保護者への対応。
- ・心配性の保護者 (保育室をのぞく)
- ・すぐに手が出てしまう子。
- ・自分の子がケガをすると過剰反応する。
- ・ケガの報告 (加害者への報告が難しい)
- ・心配性の保護者に、事実を全て話していいのか。
- ・保護者とのなんでもない会話を、どの程度とるのか。
- ・手紙によく目を通さず、電話や保育者に尋ねてくる。
- ・降園時に伝えたいことを話そうとするがす

ぐに帰ってしまう保護者。

- ・持ち上がりの子で母は自立を促したいが行動が伴っておらず、全て手を貸してしまう。
- ・年中児 (発達遅滞) でオムツが取れていない。保護者とどのように連絡を取っていったらいいか。
- ・ケガの報告をした後、初めは「大丈夫です」と言っていたが、「これはひどいので相手に伝えて下さい」と言い直された時。
- ・外国人の母 (都合のいい分からない)
- …先生「車での登園はご遠慮下さい。」
- 母「私、日本語わからない。」
- ・子どもの日焼けを嫌がる保護者。
- ・ちょっとした事で電話をしてくる保護者。
- ・電話がつかまらない。
- ・卒園児と在園児を持つ保護者から、「前は～だったのに今はなぜ～なのか？」と言われる。
- ・父母の連絡不足。
- ・連絡帳に母同士のトラブルが書いてあったり、先生から注意してほしいなどと書いてある。
- ・子どもを叱りましたと連絡をしたら、必要以上に謝ってきたり、子どもに謝らせようとする。逆に、あてつけに謝らせようとする親もいる (注意した先生に不満がある。)

◎このような問題はどこの園にもあること。

自分の胸に秘めずに主任や園長先生に報告をする。

◎伝え方に気をつける。

“叱りました” “注意しました” では、親が神経質に。「少しわからないことがあったのでお話しておきました。」などと伝えると良い。

☆保護者に話をするときは…

→個と集団ではしつけが違うという事をしっかりと伝える。

→言われる通りにするのは教育にならない。

○子どもと大人の思考の形

大人＝思考→感情→意思決定 並びが
 子ども＝意思決定→感情→思考 違う
 ・子どもはおもしろいことは何でもする。
 興味があるから力強い子どもになる。
 →子どもが確実に育っていく。

○母親が子どもを見るとき

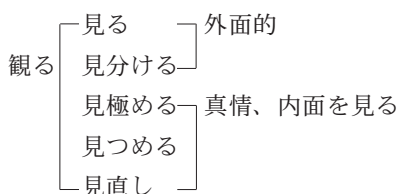
・心配という窓から全てを見ている。
 指示、命令、禁止で生活している。

○子どもの嫌いな言葉「いまはやだよ。」

- ・いけません
- ・まちなさい
- ・はやくしなさい
- ・やめなさい
- ・だめですよ
- ・よしなさい

◎否定語は使わない。

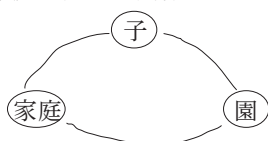
○観るという事の大切さ



(例) 子どもが朝泣いてきた
 子どもが転んだ

- ↓
- ・すぐ声を掛けるのか
 - ・そっと消毒をするのか
 - ・見守ってみるのか

○子どもと家庭と園との関係



◎努力を1つ1つ積み重ねていけば、子ども中心となる。そして、すばらしくきれいなトラ

イアングルになり、信頼へとつながっていく。

○信頼につながる一言（講師との実習）

「先生、いつもうちの子がお世話になっております」に対して、保育者はどう返せばいいか。

×こちらこそお世話になっております
 子どもが先生をお世話していない。

→挨拶はいろいろあるが、
 「一生懸命過ごしておりますが、至らないところもありますが、頑張ります。」
 ・たった一言で心をつかみ、結びつける。
 親の気持ちをどうとらえて信頼につなげるか。

◎心がこもっているかで、信頼につながる。

第3回 新任研教諭研修会

月 日 平成20年6月18日(水)

場 所 国際交流レセプションルーム

講 師 中右 貴久先生(俳優・歌のお兄さん)

テーマ：保育の実践

俯瞰図番号 E5 - I E6 - I

1. 「1丁目のドラねこ」つかむ、逃げる

①♪ 1丁目のドラネコ
 (右手のひとさし指で
 左手の親指を4回叩く)



②♪ 2丁目のくろねこ
 (右手のひとさし指で
 左手のひとさし指を
 4回叩く) 絵



③♪ 3丁目のみけねこ
 (右手のひとさし指で
 左手の中指を4回叩く)



④♪ 4丁目のとらねこ
 (右手のひとさし指で
 左手の薬指を4回叩く)



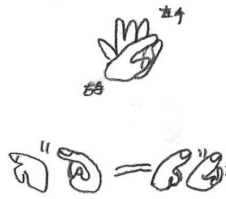
⑤ 5丁目のねずみは

研修会

(右手のひとさし指で
左手の小指を4回叩く)

⑥ ♪ 追いかけて

(両方の手をひとさし
指にして、指を動か
しながら左右に動く。)



⑦ ♪ あわてて逃げこむ

(右手はひとさし指、
左手で穴をつくる)



⑧ ♪ 穴の中～ニャー

(右手を左手の穴に入れ、
ニャーで猫の真似をする)



2. 「1丁目のドラねこ」 2人組

(①～⑥までは同じ。相手の指をさしていく。)

⑦ ♪ あわてて逃げこむ

穴の中～ニャー

(お互いに指と穴にした
手をニャーでつかんだり
逃げたりする。)



3. 「1丁目のドラネコ」横一列になって行う。

・座ってできる手遊びの1つ。また、1人～2
人、多人数でもできる手遊びである。
テンポアップしていくと盛り上がる。

4. 「むすんでひらいて」

♪ むすんでひらいて てをうってむすんで
またひらいて てをうって そのてを
うえに

・ ♪ うえに～の部分を変えることで、様々なも
のに発展することができる。

(例)

♪ うえに～ (手をキラキラさせながら
おひさまになる)

♪ よこに～ (手をよこにして飛行機に
なる)

5. 「おべんとうばこのうた」

♪ これくらいの おべんとうばこに

おにぎりおにぎり ちよいとつめて
きざみしょうがに ごましおふって
にんじんさん さくらんぼさん
しいたげさん ごぼうさん
あなのあいた れんこんさん
すじのとおった ふき

・普通のお弁当、小さいお弁当、大きいお弁当
などテンポや声のトーンなどで楽しめる。
・おにぎりではなく、サンドイッチもできる。

♪ これくらいの おべんとうばこに
サンドイッチサンドイッチ
ちよいとつめて

からしバターに こなチーズふって
トマトさん

(10・10・3)

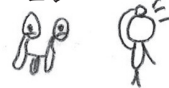


ハムさん

(8・6・3)



まあい まあい さくらんぼ
すじのとおったベーコン



(ベーであっかんベーをし、コンで頭を叩く)

6. 「Yシャツをたたもう」 2人組

・1人は大人役、1人は子ども役になる。
子ども役の子は仰向けに寝る。

① ♪ パパのYシャツをたたもう
(拍手をする)



♪ シワシワをピーンとのぼして

(子ども役の人のおなか
から、左右にさする動き)



♪ ボタンをとめましよう
(おなかをくすぐる)



② ♪ パパのYシャツをたたもう
(拍手をする)

♪ 両方のそでを合わせて
(子ども役の人の手を
片方ずつ胸の前で合わせる)



♪ 2つにたたもう
(子ども役の人の足を
取り、頭の方へ倒す)



③ ♪ パパのズボンをたたもう
シワシワをピーンとのばして
ボタンをとめましょう
(①と同じ動き)

④ ♪ パパのズボンをたたもう
(拍手をする)

♪ すそをあわせて
(子ども役の人の足を
あわせる)



♪ 2つにおりましょう
(子ども役の人の
上半身をおこす)



・親子参観日などで行うとよい。

7. 「にんどころ」 2人組

① ♪ ここはとうちゃんにんどころ
(子どもの右ほっぺをひとさし指
で触れる。)

♪ ここはかあちゃんにんどころ
(子どもの左ほっぺを指で触る)

♪ ここはじいちゃんにんどころ
(子どものおでこを指で触る)

♪ ここはおばあちゃんのにんどころ
(子どものおごを指で触る)

♪ ほそみちぬけて
(子どもの鼻筋を触る)



♪ だいどうこちょこちょ
(子どもの鼻の横から
おでこ、ほったを通って
あごに行き、こちょこちょする)



② ♪ ここはキツネににんどころ
(キツネ目にする)

♪ ここはこぶたににんどころ
(ぶたの鼻にする)

♪ ここはうさぎににんどころ
(耳を上にはひばる)

♪ ここはひよこににんどころ
(口をとがらせる)

♪ ほそみちぬけて
だいどうこちょこちょ
(①と同じ)

・年少組に向いている。親子参観などで行うとよい。



8. 「ちっちゃなセミ」 2人組

・子ども役はセミ、大人役は木になる。

① ♪ 大きな木にちっちゃなセミが
(木のまわりをぐるぐるまわる)

♪ とまった
(木に抱きつく)

♪ ミーンミーンミンミンミン
(大きな声で歌う)

♪ 大きな木は踊り出す
(木は体を揺らす)

♪ ドーンドーンドンドンドン
(木はそのまま歩く)

♪ ぶるぶるぶる～
(体を大きく揺らす)

・②番は木の役はあぐらをかき、座る。



研修会

② ♪ちっちゃな木に大きなセミが

(木のまわりをぐるぐる
まわる。)

♪とまった

(木に抱きつく)



♪ミーンミーンミンミンミン

(大きな声で歌う)

ちっちゃな木は踊り出す

(座ったまま体を揺らす)

♪ぐーうぐーうぐうぐうぐう

(座ったまま体を大きく揺らす)

♪ごろーん

(後ろに倒れる)



・運動会などの父母参加型に適した触れ合い遊びである。

9. 「八兵衛さん十兵衛さん」

♪八兵衛さんと

(指で八の字をつくる)

♪十兵衛さんが

(指で十の字をつくる)

♪ケンカした ホッ!

(指を交互に叩き合い、顔の横に
手を広げる)

♪追ってけ逃げてけ

追ってけ逃げてけ

追ってけ逃げてけ

追ってけ逃げてけ

(指で追ったり逃げる様子を表現する)

♪井戸の中お落っこって

(片手でまるをつくり、指を中に入れる)

♪顔を出したら

(まるの下から指を入れる)

♪ごっつんこ

(両手をグーにして、頭がぶつかる様子を表
わす)

♪あいたたたった



あいたたたった

(両手を頭に当て、交互に叩く)

♪ごめん ごめん ごめん

(両手をグーにして、手首を曲げたり伸ばし
たりする)

10. 「オシャレなワニさん」 2人組

・彼と彼女役を決める。

① ♪ワニさんワニさん

(手拍子)

♪顔洗い プルッ

(顔を洗う真似)

♪お顔にクリームつけました

(おでこから順にクリームを
塗る真似)



② ♪ワニさんワニさん

(手拍子)

♪靴磨き キュッ

(片足上げる)

♪おくびにネクタイつけました

(ネクタイをつける真似)

③ ♪ワニさんワニさん

(手拍子)

♪せきばらい オホン

♪それから電話をかけました

～セリフ～

「もしもし?ワニですが…遊びに行ってもい
い?」

「いいワニ♡」

・音楽に合わせて彼女のまわりを歩いてまわ
る。彼女は手拍子をする。

♪トコトコトコトコ～

おしゃれなワニ、ワニワニ

はい、こんにちは～

(手を振る)



11. 「ちっちゃな王様、王女様」 2人組

・大人役、子ども役になる。

向かい合って手をつなく。

① ♪ちっちゃなちっちゃな
王様王女様

(その場でまわる)

馬に乗って出かけます～
～セリフ～ (大人)

「いい馬でございます。」

(子どもをおんぶする)

♪はしれはしれはしれ
もつとはやく

(おんぶしたまま走る)



② ♪ちっちゃなちっちゃな
王様王女様

カメに乗って出かけます～
(①番と同じ)

～セリフ～ (大人)

「いいカメでございます。」

(よつんばいになる)

♪はしれはしれはしれ
もつとはやく

(よつんばいのまま走る)



③ ♪ちっちゃなちっちゃな
王様王女様

キリンに乗って出かけます～
(①番と同じ)

～セリフ～ (大人)

「いいキリンでございます。」

(子どもを肩車する)

♪はしれはしれはしれ
もつとはやく

(肩車のまま走る)



12. 「かぼちゃのたね」(お寺の和尚さん)

・2人組で向かい合う。

♪せっせっせーのよいよいよい

お寺の和尚さんが

かぼちゃのたねをまきました

芽が出てふくらんで花が咲いたら

ジャンケンポイ

・交互に手を叩くが、両手で叩くなど年齢に
合った叩き方を選ぶとよい。

13. 「ぬけたよ おいも」2人組

・大人役、子ども役になる。

① ♪土の中で太った父さんおいもだぞ

(大人は軽くはねた後、しゃがむ)

♪押しても引いてもオヤオヤオヤ

動かない

(子どもは大人を押ししたり引っばったりする)

子 くすぐる→いもが抜ける

♪よーしぬけたぞ

(子どもは大人を背負って歩く)

♪うんとこしょどっこいしょ～



② ♪土の中で太った赤ちゃんおいもだぞ

(子どもは軽くはねた後、しゃがむ)

♪押しても引いてもオヤオヤオヤ

動かない

(大人は子どもを押ししたり引っばったりする)

大人くすぐる→いもが抜ける

♪よーしぬけたぞ

(大人は子どもを担いで歩く)

♪うんとこしょどっこいしょ～



③ ♪土の中で太った母さんおいもだぞ

押しても引いても動かない

よーしぬけたぞ

うんとこしょどっこいしょ～

④ ♪土の中で太った赤ちゃんおいもだぞ

押しても引いても動かない

よーしぬけたぞ

うんとこしょどっこいしょ～

14. 「まあいいケーキ」2人組

① ♪まあいいまあいいケーキ

(手の平を合わせてまるをつくる)

♪三角いちごのケーキ

(胸の前で三角をつくる)

♪ふわふわクリームケーキ

(手の平で円を描くようにする)

♪みんなで食べたいね



研修会

ねっねっ

(2人組になる)

♪クリスマスケーキ パクッ!

(食べる真似をする)

②♪まあるいちいさいケーキ

三角いちごのケーキ

(①番と同じ)

♪ろうそく揺れてるケーキ

(手の平を合わせて、ゆらゆら揺れる)

♪トナカイさんと食べたいね

ねっねっ

クリスマスケーキ パクッ!

(①番と同じ)

③♪まあるいおおきいケーキ

もみの木揺れてるケーキ

クリスマスケーキ

サンタさんと食べたいね

ねっねっ

クリスマスケーキ パクッ!

・クリスマスの季節にぴったりな手遊び。

15. 「うさぎの赤ちゃん」

①♪うさぎの赤ちゃん

♪かぜひいた ハクシオン

(手を口元から前に向けて動かし、くしゃみを
をする)

♪うさぎの赤ちゃんかぜひいた

ハクシオン

うさぎの赤ちゃんかぜひいた

♪とてもあわてて

(手拍子)

♪シップした

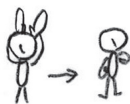
(手を胸の前で交差する)

・②番はぶたの赤ちゃん、③番はカバの赤ちゃんを歌う。

16. 「どんぶらぶっかり」2人組

・大人役、子ども役になる。

・大人は長座になり、足に子どもをのせる。足が川となり、川から色んなものが流れてくる



様子を表した触れ合い遊びである。

①♪大きな桃がどんぶらっこぶっかりこ

おーいこっちに流れてくる

(手をつないで揺れる) 絵

♪どんぶらっこぶっかりこ

どんぶらっこぶっかりこ

どっこいしょーのどっこいしょーの

(ひざを揺らしながら子どもをくすぐる)

♪つかまえた

(子どもを抱き寄せる)



17. 「春を見つけた」

①♪パッと咲いたよタンポポ

ひらひら飛ぶのはちょうちよ

ニョキっとつくしが出てきた

「春を見つけた」

・歌詞の中に春がたくさん出てくる。

4月から歌ったり踊ったりがすぐできる。

18. 「まちがえちゃうね」

①♪カバさんの作ったドーナツは

(体を前後に動かし、生地をこねているよう
にする)

♪えっ!!

(びっくりする)

♪まんまるこんなに大きくて

(手でまるを作る)

♪えー!!

(びっくりする)

♪うみにもっていったらさあ大変

(手でひざを叩いて手を顔の横にする)

♪うきわと間違えちゃうね

(手拍子)

♪え〜!!

(一番大きく驚く)

・驚くところが一番楽しいところなので、少し大げさに行くとよい。

②♪ぞうさんの作ったドーナツは

えっ!!

まんまるこんなに大きくて



えー!!

車につけたらさあ大変
タイヤと間違えちゃうね
え〜!!

③♪リスさんの作ったドーナツは

えっ!!
まんまるこんなに小さくて
えー!!
指につけたらさあ大変
指輪と間違えちゃうね
え〜!!

19. 「とっきゅうでんしゃにのって」

- ・一人一人が電車になって遊ぶ。
- ・合の手を切符の数だけ忘れないように気を付ける。
- ・集団遊びとして盛り上がる。

〈内容〉

- 1) 始めは自由に動きまわる。
- 2) 途中、車掌さんが切符の数を伝える。
その数と同じ仲間を見つけ、電車になる。
(3枚→3人電車)
- 3) 電車になれなかった子は、橋やトンネルや犬などに変身する。

第4回 3歳児研究会兼新任研修会

月 日 平成20年9月10日(水)

場 所 中原市民館

講 師 高橋 かほる先生

(玉川大学教育学部講師)

テーマ：あそびから発達特性を考える

—保護者対応2(行事について)—

俯瞰図番号 C1-1 C3-1

〈内容〉

○遊び、遊びの意味、発達特性、行事の意味を
考えていく。

…どんな遊びをしているか。

3歳→園庭でセミ取り、色水遊び、ポニョの

歌で合奏 など

4歳→砂場で山や川をつくる、鬼ごっこやど
ろけいなどの集団ゲーム、ブロックで
たたかいごっこ など

5歳→廃材遊び、外でおままごと、リレー
など

◎今の流行が遊びであり共有のもの。

教師として知っておくとよい。

…その中で遊びの特徴とは。

- ・4月～7月までにこんな力が育ったので、
今その遊びになってきている。
- ・4月、5月は不安定で落ち着きがない。
しかし、先生の援助があり、友だちができ
たり、好きな遊びがある事で今は落ち着い
て過ごしている。一学期育ったものは大き
い。
- ・不安が安心感に変わった事や、プロセスを
話す事が大事である。

○3歳児…1学期は母子分離ができなかった。

〈1学期〉

1人で遊ぶ→「先生遊ぼう」

〈2学期〉

「先生、友だちと遊んでくるね。」

→・友だちのおもしろさがわかるようになっ
てきた。成長した。

○なぜ3歳児に比べて5歳児は慣れるのが早い
のか。なぜ大きくなると慣れるのか。

→・習慣や経験から、遊びのおもしろさを知っ
ている。

・見通しができている。

・目的意識を持っている。

○日誌を書く時の考察について

・考察を話せるとご父母は安心する。

・考察とは(観察と考察の違い)

(例)

みんな元気なのにAちゃんは泣いている。

↓ 考察

研修会

原因と思われる事を書く。

◎ “みんな” という全体を書く事が大事。

全体の中の関係性を捉える。

- ・プロセスの中の〇〇を書けるのは担任だけである。
- ・時間的経緯も大切。
- ・大まかな捉え方では専門性が問われる。

①全体の姿を捉える

②考察（細かく捉える）

③援助→どんな方法があるか。

- ・ご父母との連絡
- ・友だちの力を借りる
- ・直接的援助（安心感を与える）

→親に日常の様子を伝える。プロセスを話す。子どもをよく思っているという認めを持っている事が大切。親は認めがほしい。よかった時の事を一番話してほしい。（エピソードを残しておく、覚えておく）

◎成長のプロセスの話ができるのは先生だけ。事前、当日、事後が大切。

○保護者について

- ・対応がむずかしい。
- ・よい事を、子どもを全体的に信頼して話す。
- ・誤解を受ける言い方をしない。

（例）

×「おうちで何かありませんでしたか？」
→「何かおうちで園の事を言っていますか？」と聞き、「明日もっと丁寧な対応を心掛けていきます」と言えるとよい。

○遊びの意味を親に伝える

- ・遊びの中で育つものは…

①感性（自分と人が違うと知る）

…色々な遊びの体験が大切である。

（例）

風に吹かれる→一体化を体験する。

- ・3歳→砂などの感触から違いに気づく。
- ・4歳→興味の広がりから違いに気づく。
- ・5歳→観察する事で違いに気づく。

②コミュニケーション力（言葉）

…伝えたい気持ちを育てる。

（言葉で苦勞しないままだと伝え合う力が弱い。）

…意識のずれを経験させる。（葛藤）

→2学期の自己主張につながる。

③集中力

- ・3歳児→集中してそれを楽しめる。
- ・4歳児→集中して物事が広がっていく。
- ・5歳児→集中して物事の違いを考える事ができる。

…感性が育っていないという事は、違いがわからない。伝える事ができない。興味が無い。今、こういう子が非常に多い。

…自信がない子は自分で選ぶ力が無い。

自信、自立心をつけようという事が、教育要領改定のテーマにもなっている。

◎子どもが本気になるものは発達特性に合っている。

④社会性

…基本意識、道徳性が芽生える。

ルールがなぜ必要なのかを感じるという事から始める。（大人が言い伝えるのではなく、周りが気づいたり考えさせる事が大切である。）

…自分が守ろうとする気持ち。（危険性がわかるように話す。） どうしてこれが必要なのかを伝える事が大切。（5歳児は特に大切である。） 子どもがつくり変えるという事が、生きる力になる。

…3歳児だったらどれくらい社会を持っていればよいか。

- ・集団で遊ぶ楽しさ、感覚を味わう。
- ・みんなの前で物が言える事が大切。
- ・リーダーが大切。安定感がある事が大切。
- ・たくさん自分の話を聞いてもらう事が大切。（今度は先生の話聞くようになる。）

◎年齢が低いほど、対立があってもよい。

→徐々にどうしようかと、解き放っていく。

みんなで社会性をつくっていく。

⑤挑戦力（意欲につながる）

…ある程度のところまで来た時に、“もう少しこうしたい”という事が大切。

- ・見通しを立てる。
- ・変化や選べる事、チャンスが大切。

◎先生によって遊びを変えていく事ができる。
発達特性を知っておく事。

◎保護者と話す時に、行事の意味も含めて話せるように。

○行事とは～事前、当日、事後～

- ・ポイント…心と体の管理を保護者をお願いする。一緒に行っていく。
- ・事前の子どもの様子と大切な事。
- 3歳→楽しみ、嬉しい日を迎えるという事をシュミレーションしていく。
ワクワク感。
- 4歳→とても意識している。優越感、みんなに認められるという事。
- 5歳→自負と誇り。自分たちがリーダーなんだという意識。みんなで作くり上げた行事という事。

○遊びのポイント

→遊びたくなるような環境

○叱り方のポイント

〈すぐ泣く子〉

- ・かわいそうだからとすぐやめてしまうと泣き方を覚える。落ち着くまで待ち、ゆっくりと伝える。

〈反抗する子〉

- ・心情は違うんだ、気持ちをわかってほしいと思っている。抑えつけず、強く出ない事が大切。

〈反応ない子〉

- ・言う側が言葉をくり返してもイライラするだけ。行動が変わった時に、“そう、それでいいんだよ”と認める。

第5回 新任教諭研修会

月 日 平成 20 年 10 月 22 日（水）

場 所 国際交流センター ホール

講 師 幸福 花江先生

（横浜市社会福祉協議会

障害者支援センター巡回相談員）

テーマ：障がい児理解と対応

～「統合保育のとびら」の利用のすすめ～

俯瞰図番号 D3 - I D4

〈講師の資料より〉

1. 川崎市幼稚園の統合保育の現状

- ・統合保育とは
定型発達の子どもたちの集団の中で遅れのある子どもたちも一緒に保育する形態。両方の子どもたちが生活経験や学習の機会が保障されなければならない。教師にとっても保育観、子ども観、価値観を問われる場であり学び、成長の場である。
- ・川崎市幼稚園の現状
統合保育をしている園が増えている。又、研修でも力を入れている。

2. 特別支援教育について

平成 19 年度より新しく始まった学校教育。従来の障がい児教育（特殊教育）の幅の拡大。従来障がいとは言われなかったが支援や配慮が必要な子どもたち（高機能自閉症、LD、ADHD など）を普通教育の中で指導教育する。将来の社会参加や自立に向けて 1 人 1 人のニーズを把握し適切な指導をする（個別指導計画）。
→これは川崎市幼稚園が現在実施している統合保育の在り方である。
→近い将来幼児教育現場においても特別支援教育（保育）が導入されるであろう。

3. 特別支援教育ということ

○特別支援教育は＝つながる教育

- ・出発点は子どもが「困っている」ことへの気づき。（視点を変えてみる）

研修会

○誰かに責任を押しつけない、誰かを「わる者」にしないネットワークづくり。

- ・困っている子どもを、困っている保護者を、困っている保育者を、みんなで支える。見通しを持ってもらう。
- ・保育の合い言葉＝それでいいよ
だいじょうぶ

4. 発達障がい理解

- ・発達障がいとは
何らかの脳の障がいが原因で生じる生活上の困難、不適切な状態。(本田医師)
自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能障害であってその症状が通常低学年において発現するもの。(発達障害者支援法 平成17年施行)
- ・発達の障害(遅れ)には2種類ある。
知的発達の遅れ、運動発達の遅れ
- 知的障害(目に見える障害)
発達の偏り、発達のバランスの問題
- 自閉性障害
社会性、対人関係、言葉などの発達の順序の違い。

◎診断名と特性については、統合保育のとびらに記されている。

- ・診断について
診断名や検査の数値は支援(指導や育て方)の手掛りを得る。レッテルを貼ったり差別偏見するのは間違い。
- ・診断がつかないけれど配慮が必要な子ども
- ちょっとした事でキレやすい
- 友だちとの関わりが一方的でマイペース
- わがままで自己中心的
- 自分のやり方に固執する
- 1番になる事にこだわる
- ルールのある集団遊びに参加しない
- 思いやりがなく乱暴で挑発的な行動をする
- ・家庭では(個人活動では)それ程度気にな

らない。

◎集団で顕在化するのが特徴。

5. 自閉性障害(広汎性発達障害)の特徴

- ①社会的相互交渉の質的異常
(例) 順番が守れない
- ②コミュニケーションの質的異常
(例) オウム返し、言葉の理解がない
- ③想像力の欠如
(例) 遊びが単調、危険がわからない
- ④感覚異常
(例) はだしを嫌がる、好む
→五感が鈍かったり敏感だったりする。
- ⑤「注意」の散漫・集中
(例) 壁面などが気になってしまう。
周りの事が全部見えてしまう。

6. 幼稚園・集団における対応・支援

- ①子どもにわかりやすい環境をつくる。
 - ・場所…ここで着替えるなど。
 - ・指示は短く、1つずつ見本を見せる。
 - ・行う事を肯定的に言う。
 - ・座る場所にも気をつける。(先生の近く、いい手本となれる子の近く)
 - ・視覚的手がかりを使う。言葉で言われるより目で見てわかる。(実物、絵、写真など)
 - ・突然の変更は苦手なので、事前に見通しがわかるように伝える。
 - ・行事など通常と違う保育には特別の配慮をする。
- ②困った行動を減らし望ましい行動を増やす為に。
 - 困った行動はその子のサインであり、いきさつや原因がある。
 - ・ほめる機会をたくさんつくる。得意なところをほめる。普通の時をほめる。
 - ・少しでも望ましい行動をしはじめたその時、その行動をほめる。
 - ・叱っても効果はない。かえって注意獲得の困った行動が増える。

- ・何時、どういう時、困った駆動をするのか、した後の対応はどうしているかをよく観察して背景や理由を考える事が大事。

注意獲得

拒否

要求

感覚刺激

不安

- ・ハードルを下げ、成功体験を増やす。
 - ・要求水準を下げる。この子にできる事は何かを考える。
 - ・多くを望まずひとつでもできたらよしとする。
 - ・人を巻き込む行動や他害の行動は早期に対処するほうがよい。
- 自由時間、何をしてよいのかわからない時、人を巻き込む行動が起きやすい。

③パニックになってしまった時

- ・先生の膝の上に座らせて落ちつかせる。
- ・言葉掛けを避ける。
- ・落ちついたら理由を聞く。気持ちを共感する。

7. まとめ 統合保育の基本的な心構え

発達の遅れや偏りのある子どもは、健常児と関わる中で特別な配慮と丁寧な関わりが必要である。

→どのように接するとよいか伝える。

(例) ゆっくり話してね

できないところは手伝ってあげてね

適切で忍耐強い指導で子どもは必ず成長発達する。健常児にとってもいろいろの子がいる事を身をもって経験する中で、やさしさや思いやりが育ち、将来幅広い人間観や価値観をもつ人格形成の基礎になる。

◎特に日々取り組んでいきたい事

- ①子どもとの信頼関係を築く 共感的態度
- ②子どもを理解する
- ③個別化した対応をする
- ④その子どもの指導目標を立てる

⑤記録をつける

⑥1人で抱え込まない

園全体で対応する

ケースカンファレンスの実施

先輩との連携

⑦家庭との連携

⑧専門機関との連携

第6回 新任教諭研修会

月 日 平成20年11月19日(水)

場 所 国際交流センター

講 師 細田 淳子先生

(東京家政大学教授)

テーマ:「教育課程と指導計画」

俯瞰図番号 E1-1 E2-1

〈内容〉

○教育課程とは…園の教育目標にそって、各学年の生活する年間の目標や、それぞれのねらい。

→教育課程が示されているのが教育要領であり、日常生活の評価を持って5領域をもとにして考えている。

○指導計画とは…学期や月ごとのふさわしい幼児活動の年間計画を受けて、幼児の実体に合わせて計画したもの。

◎各園の教育目標が中心になっている。

○計画を立てるにあたって…

・長期計画

・短期計画

・日案

がある。

〈講師の資料参考〉

1. 保育における「計画」の基本的な考え方

①保育の基本原則

→自発的な活動としての遊びの中心とする子

研修会

どもの主体的な生活。援助する事を通して
子どもの育ちを支える。

②保育における計画の必要性

→その場かぎりのものになってしまう事がな
くなる。(長期的な視野で捉える)

③保育における計画の意義

→想像力を働かせ、スムーズにイメージがふ
くらむ保育者になれる。

①実践 幼児と共に行動しながら考える→ずれ

記録(気持ち、行動の意味)→②反省 降
園後、1日の生活を改めて振り返る→③計画
翌日からの援助や環境構成を考える→

④保育における基本的な計画の在り方：子ど も理解から始まる

- ・子どもの活動を捉え、その時々的心情や意
欲(行動の意味)を理解する(子どもの実
態の把握)

↓

- ・長期的な見通しと重ねながら、子どもに対
する願いを整理する(ねらいの設定)

↓

- ・その願いが(子どもに無理なく)実現され
るような経験の構想(内容の設定)

↓

- ・その経験が可能となるような状況の構成
(環境構成を含む援助の考案)
(手立て)

⑤計画の立案における基本的な論理

- ・もし「子どもたちがこういう生活をした
いと思っている」ならば「こういうふう
に援助しよう」

↓

2. 指導計画作成の前段階

①提案したい活動

②活動の流れ、予想される子どもたちの思い

- ・活動の流れ

〈1〉保育者の動き

〈2〉予想される子どもたちの動き

- ・予想される子どもたちの思い

〈3〉その時々子どもたちが経験する面 白さ

〈4〉子どもたちが直面するわからなさ

〈5〉子どもたちが経験するつまらなさ

- ③ 〈3〉の内容に基づいて整理される、この
活動を通して子どもたちが具体的に経験
する面白さとは?→「内容」となる。

- ④ 上記の内容をふまえ、改めてこの活動を通
して子どもたちに経験してほしいと(立案
に先立って潜在的にもっていた)願い→
「ねらい」となる。

- ⑤ 〈4〉〈5〉の内容に基づいて整理される、
この活動を展開する上での留意点とは?
→「留意点・配慮事項」となる。

〈2人組になり、実際に計画を考える〉

○2人組のまま手遊びを行う。

- ・アルプス一万尺
- ・線路は続くよどこまでも
- ・お寺の和尚さん
- ・おちゃらか
- ・みかんの花咲く丘

◎手合わせ遊びはとても良い。いつでもどこ でも、何もなくてもできる。拍子をとる基本 にもなる。(拍子に気をつける)

→特にお寺の和尚さんは、たったの2音で
きているので音程がきちんととれるよう
になる。音程感覚がきちんととれるよう
になると、ジャンプする曲が歌えるよ
うになる。

→全ての曲で手合わせ遊びができる。子
どもたちにどうやってやりたいかを聞
く事で、想像力が伸びる。自分のや
りたい事で満足度がある。

○手合わせ遊び

- ・大きな栗の木の下で
- ・ぞうさん
- ・“今日の保育で歌ってきた歌”で手合わせ遊びを考える。

◎手合わせ遊びは父母の方にも教えてあげてほしい。(若い父母は子どもとどのように遊んでいいかわからない)

◎曲を変えたり、手を変えると無限に広がる。

○子どもの歌声について

- ・子どもの歌声には、どなる・美しい声・子どもらしい声の3種類がある。

→どなるは、全身に力を入れのどを痛める。

…なぜ、どなるのか。

(理由)

- ・目立ちたい！→歌う時意外で目立つ場を設けるようにする。

- ・保育者がどならせている！

→×元気に！大きな声で！

◎大きな口をあけてうたってね。

ピアノの音を聞いてみてね。

他の友だちの声を聞いてみてね。

◎子どもの声帯は小さい。肺活量も少ないので、そんなに大きな声が出るわけではない。

◎リラックスしたらどならない。大人が子どもの前で揺れる。それによって子どもも揺れて歌うので、それを誉めると良い。

●「どこかゆこう」 交互歌を歌う。

●「十五夜さんのもちつき」 手合わせ遊び